

令和3年度 むつ商工会議所経営発達支援計画 事業評価書

令和3年度の「経営発達支援計画」に基づいて実施した事業について、事業評価協議会を開催し、次年度以降の各事業の見直し等につなげるための評価を行った。

1. 日 時 令和4年6月27日（月） 13:30～15:00

2. 場 所 むつ商工会議所 2階会議室

3. 出席者 【委員】鹿内 徹（むつ商工会議所専務理事）
北山 達郎（日本政策金融公庫青森支店国民生活事業統轄）
角野 一恵（むつ商工会議所事務局長）
船場 永幸（むつ商工会議所次長）
【事務局】むつ商工会議所中小企業相談所 相談所長 松谷 仁
〃 経営支援課 主任 奥川 拓也
〃 経営支援課 主事 高野 瑞基

なお、以下の2名は当日欠席のため、事前に評価していただいた。

【委員】田村 武智（グローバルエグゼクティブパートナーズ 代表）
角本 昌史（むつ市経済部産業雇用政策課長）

4. 事業評価

・評価基準は、次のとおり。

- 5 ⇒ 優れて達成している
- 4 ⇒ やや優れて達成している
- 3 ⇒ 概ね達成している
- 2 ⇒ やや達成が不十分
- 1 ⇒ 達成できていない

・各事業の評価は、下記表のとおり

委員6名が、5～1それぞれに該当する評価をした人数を記載している。

事業番号、事業内容	5	4	3	2	1
2. 地域の経済動向調査に関する事	①	③	②		
3. 経営状況の分析に関する事	⑤	①			
4. 事業計画策定支援に関する事	⑥				
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	③	③			
6. 需要動向調査に関する事			④	②	
7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事			④	②	
8. 地域経済の活性化に資する取組に関する事		③	③		
9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	②	①	③		
10. 経営指導員等の資質向上等に関する事	③	②	①		

<評価に係る委員の意見、コメント等>

- 「景気動向に関する調査」の目標値に達しなかった理由はなにか
 - ・調査回数としては達しているが、あくまでも公表回数であるため、結果がまだ届いていない状態である。

- 経営状況の分析に関すること
 - ・コロナ禍により、巡回よりも窓口での掘り起こしに力をいれている。

- 支援者の業種について教えてほしい
 - ・持続化補助金や事業再構築補助金では飲食業の支援が多くみられた。

- マル経融資の件数は事業計画策定件数で良いか
 - ・マル経融資申込時に事業計画作成が必須となっているため、推薦件数と事業計画作成件数はイコールとなると説明。

- テストマーケティングとは何か
 - ・産業まつり時に、「下北ブランド開発推進協議会」との協力で、新商品等の試食を実施し来場者から意見を募っていたが、中止となったため実施できなかった。産業まつりでの調査に固執しすぎていたかもしれない。

- むつ市の夜景プロジェクト事業について
 - ・リアルでの開催を目標にしてきたが、オンラインとなってしまい残念。

- 支援ノウハウ等の情報交換について
 - ・情報交換は商工会議所職員だけでなく、県職員、日本政策金融公庫職員も参加する。